YCだより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。
県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

どんな時でもみんなが自然と笑顔に！

ふっくらおいしいパンの缶詰

5年保存
エッグフリー(卵不使用)
SDGs対応商品

焼いたパンを缶の中に入れた「缶入りパン」とは違い、発酵から焼成までをすべて缶の中で行うので、安心安全。アウトドア・キャンプ・ギフト・旅行・非常食・備蓄など様々なシーンでご利用いただけます。

申込番号 680212 パンだ缶「バラエティ6缶セット」
●重さ(約):パンの缶詰100g×6缶
●箱サイズ(約):80×234×251mm
●アレルギー表示:小麦・乳成分
●賞味期限:5年
3,888円 税込 ＋送料550円

読売通販ねっぱ
商品のお申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで
0120-860-432
AM9:00～PM8:00（土・日・祝日もお受けします）
※ご注文の際は企画番号・申込番号をオペレーターにお申し付けください。
株式会社 読売情報開発 YCサポート部
〒102-8618 東京都千代田区平河町2-13-3

送料550円 宅配便 お客様直送 支払方法 ①商品お届けの際に代金と引き換え（手数料無料） ②クレジットカード（翌月一括払い、リボ払い、分割払い） ※ご本人名義に限ります 企画番号 5738 受付締切 2023年5/25(木) 商品配送 2023年6月上旬より順次

お客様のご都合による返品・交換はご容赦ください。欠品、商品の汚損・破損などについては、商品到着後、直ちにご連絡ください。返送料当社負担で新しい商品との取り替えいたします。●商品・交換は商品到着から8日以内にご連絡ください。●ご注文をいただいた方（以下「お客様」）のお名前、ご住所、電話番号、申込内容等の個人情報は、株式会社読売情報開発（以下「当社」）とお客様の地域を担当する読売センター（YC）が共同で利用し、商品のお届けのほか、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内の送付、配送・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご検読の勧め、ご興読の延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YCおよび読売グループ傘下・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務に用いさせていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社とYCが責任をもって管理します。個人情報の取り扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacypolicy/kyoudouriyou.html#をご確認ください。

リベンジ果たす 福田・畑田ペア 男子

昨秋春季全国県予選決勝で敗れた相手倒す

見事な連係プレーで優勝した畑田㊧と福田

【男子】
▽決勝
福田 碧大・畑田 亨祐（わかくさ） 3－0 横田 来輝・小島 一希（川島STC）

ラインぎりぎりのショット放ちチャンスボールをボレーで

令和5年度全日本小学生ソフトテニス県予選

令和5年度全日本小学生ソフトテニス県予選が5月3日、くまがやドームで行われた。男子決勝では福田碧大（あおと）・畑田亨祐（わかくさ、ともに6年）組が3－0で横田来輝・小島一希（川島STC、ともに6年）組を下して優勝した。福田のコースを突くショットと畑田のボレーで相手をほんろうし快勝した。わかくさ同士の対戦となった女子決勝は野口美桜・會田真菜夏（ともに6年）組が3－0で山本結愛・加藤純奈（ともに5年）組を破って優勝した。福田・畑田組が喜びを爆発させた。決勝の相手となった横田・小島組は、昨秋の春季全国県予選決勝で敗れた相手。リベンジを果たし「本当にうれしい」と声をそろえた。

3月の全国で16強

何度もジャンプして、コートにうずくまって、雄たけびを挙げた。男子決勝を制した福田・畑田組が喜びを爆発させた。決勝の相手となった横田・小島組は、昨秋の春季全国県予選決勝で敗れた相手。リベンジを果たし「本当にうれしい」と声をそろえた。

「相手は強くて重いボール。打ち負けないように練習してきた」という福田がラインぎりぎりを狙ったショットを放ち、チャンスボールを畑田が「一生懸命練習した」というボレーで決めた。

県2位で出場した3月の全国大会ではベスト16。集大成となる今度の全国大会（8月3～6日、兵庫）では「目標は優勝」と、また2人そろって高らかに宣言した。

男子Vの福田㊧・畑田組

小島「ミス多かった」

○…男子決勝で敗れた横田・小島組は、まさかの準優勝に肩を落とした。昨秋Vで今回も圧倒的な優勝候補だったが、横田が「相手に流れに乗られてしまった」と言えば、小島も「自分のミスが多かった」。3月の全国大会では横田がインフルエンザで欠場し、小島が急きょ、違う選手と出場して決勝トーナメント1回戦敗退だっただけに「優勝を目指せる力をつけていきたい」（横田）と、県2位で出場する全国へレベルアップをにらんだ。

野口・會田組 女子 先輩の威厳示す

昨秋に続き2大会連続V

女子は野口・會田組が昨秋に続いて2大会連続Vを飾った。決勝では同じクラブの後輩ペアが相手だったが「油断したら負ける。ていねいにいった。ただ、後輩に負けるわけにはいかなかった」（野口）と、3－0で先輩の威厳を示した。

3月の全国大会では5位に入ったが「全国はつないできたり攻めてきたりと、いろんな選手がいる」（野口）と、自分たちの持ち味であるつなぐプレーに磨きをかけた。「春は自分たちからのミスで負けたけど、今度は最後まで諦めずに頑張りたい」（會田）と、上位を見据えた。

快勝で貫録を見せた野口㊧・會田組

【女子】
▽決勝
野口 美桜・會田真菜夏（わかくさ） 3－0 山本 結愛・加藤 純奈（わかくさ）

女子Vの野口㊧・會田組

全国決め満足そうな表情

○…女子準Vの山本・加藤組は、決勝でこそ先輩ペアに圧倒されたが、「6年生を相手にここまでくることができた」（山本）と、全国出場も決め満足そうな表情を浮かべた。「決勝では第2ゲームで、つなぎでミスする場面があった」（加藤）と、反省も忘れなかった。「全国では3位以内を目指したい。できれば決勝でまた先輩と対戦したい」と、ともに大舞台での活躍を誓った。

読者の声

さいたま市浦和区 S・Tさん（男性）「辛手さくらマラソン大会の記事。桜のトンネルからのスタートは非常にきれいでした。全ページがカラーでとても紙面があたたかく感じます」

朝霞市 Y・Yさん（女性）「こどもサッカーチャレンジカップ。ASAKA優勝嬉しかったです！子供たちの元気な姿を見ると大人の私たちも元気が出ます！子供たちのパワーってすごいな～」

春日部市 K・Sさん（女性）「マラソン大会。スタート時の真剣な表情と、ゴールした時の表情の違いがよかったです。老若男女問わず、苦しみの後の笑顔から元気をもらいました」

川口市 T・Sさん（男性）「クラブ特集を読んで、以前私も野球をやっていたこともあり、懐かしく楽しかったなあと思い出しました。WBCでより多くの子供たちが野球の楽しさを知り、学んでいってほしいと思います」